

蛇行するマグマが海に迫る

岩だらけの丸子海岸には、観光客が利用できる休憩所などの施設がありません。徒歩での進入は難しいですが、太古の五島列島における地質活動の驚異を伝えており、訪問の価値あります。

花崗岩に走る岩脈

複数の場所で、花崗岩に細長い岩脈（大部分が玄武岩です）が蛇行している姿を見ることができます。砂岩や泥岩などの堆積物に貫入した玄武岩質の岩脈は珍しくありませんが、ここで見られるのは別の火成岩である花崗岩に貫入した岩脈です。

灰色玄武岩の細長い1本の筋が、海に向かって蛇行している場所もあります。周りの花崗岩が侵食で消失したことによるものです。別の場所では、花崗岩のど真ん中に、黒い玄武岩が貫入し蛇行している様子も見ることができます。

黒焦げの岩

多くの場合、高温の溶岩が貫入した場所では、もともと花崗岩であった箇所が焦げ、灼熱との接触による爪痕が残っています。場合によっては、溶岩の接触を受けた岩が再結晶化し、ホルンフェルスと呼ばれる物質が生じます。この現象では、高温でない母岩（たいてい堆積物です）が、玄武岩質マグマなど高温の火成岩質物質に接触し、高熱によって母岩が新しい形に生まれ変わります。

珍しい岩の構造を観察し、地質活動の驚異的な力をご覧になりたい方には、ぜひ丸子海岸を歩いて探索してみてください。